

## 「東北お遍路プロジェクト」巡礼地石柱デザイン趣意書

### □デザイン

- ・全体の構図を燭台のかたちとして、お遍路プロジェクトロゴマークのモチーフになっている「希望の灯り」を表しました。
- ・長く語り継がれるための石柱ということで、できるだけシンプルな構造、見飽きないかたちとしながら、プロジェクトに対する思いが散りばめられたデザインとしました。
- ・長さ2011mm、幅311mmの寸法からなる石柱を用いて、大震災のあった2011年3月11日を表現し、さらに石柱の上部に3本の線と1本の線2本とで「3.11」を刻印して大震災の事実を後世に伝えていく決意を表します。
- ・最上部に掲げる玉石は犠牲となった方々への慰霊と鎮魂の石です。丸いかたち「玉(たま)」は「霊(たま)」「魂(たま)」に通じ、特に丸い石は「霊」「魂」が宿る石ということで古来、丸石信仰として崇められてきました。今回のプロジェクトに用いる石はそれらの意思を込めて、できるだけ丸いかたちの石を選び出し、巡礼地に捧げたいと思います。

丸石は「希望の灯り」をさらに打ち出すために一部を磨いて輝きを出します。

### □石材

- ・石柱を福島県いわき市産出の白みかげ石「紀山石」、受けの部分と玉石を宮城県丸森町産出の安山岩「伊達冠石」と、大震災の被災地からとれる石材を用いることにより、今回のプロジェクトの意味が一層深いものになると思います。

### □文字彫刻

- ・正面 ロゴマークと「東北お遍路巡礼地」
- ・正面右側 設置場所「龍昌寺(福島県新地町)」
- ・正面左側 提供者「有限会社山田石販」
- ・後ろ 設置年月日と「設置・一般社団法人東北お遍路プロジェクト」

